

# 大石 優希の引退試合に

## OB・OG 先生方 そして家族 総勢36人が

# 橘定スポーツ BaseBall

たろてい

主役の大石だけでなく皆が楽しい時間 小さな幸せを感じる時間に

# 誠実な姿勢に

橘定野球部が積み重ねてきたもの大石優希が見せてきた姿勢に人が集まる

4人しかいない野球部のために、大石優希の引退試合のために、33人もの方々が集まってくださった。これまで橘定野球部が積み重ねてきたもの、そして、大石が入部以来見せてきた誠実な姿勢がこの一日に表れていた。



笑いあり  
真剣勝負あり  
喜びあり  
悔しさあり  
この日の穏やかな  
天気のように  
グラウンドには  
最初から最後まで  
和やかで温かい雰囲気  
が広がっていた。

努力を惜しまない姿勢が  
先輩方から認められ  
後輩たちから慕われる  
それが 大石 優希



橘定野球部の八代目主将として一時代を築いてきた大石優希の引退試合が、2月12日晴天の下、御幸球場で予定通り行われた。毎年行われる引退試合は、この数年、「引退部員が率いる橘定野球部」対「橘定教員チーム」での勝負が繰り返されてきた。しかし、今年引退するメンバーは大石ただ1人。そして現役メンバーは吉田侑生と袴田羽、和田蒼生の3人で、合わせてわずか4人。チームをつくるのが出来ない。しかし、この日の大石の引退試合には、試合が出来るようにと、あるいは応援にと、駆けつけてくださったOBやOG、先生方、そして家族は総勢36人。4人しかいない野球部のため

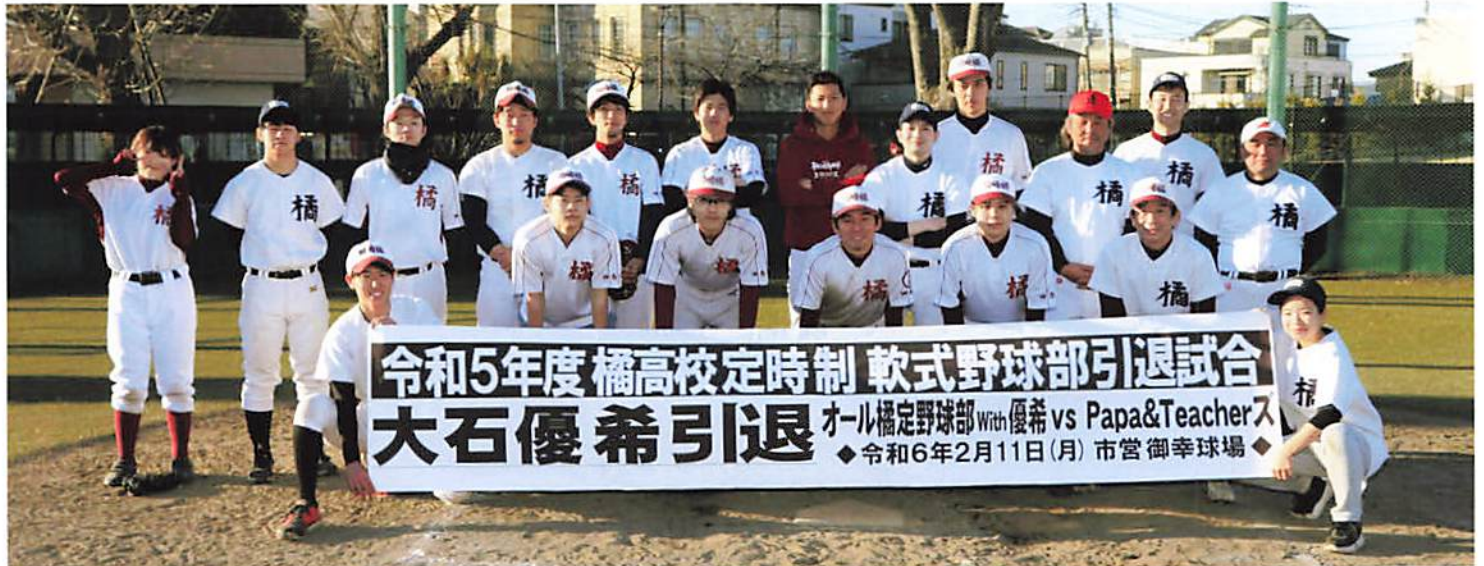
オール橘定野球部With優希13対11 Papa&Teacherズ

入試による活動停止に続き、学年末考査による活動停止となる。練習再開は26日月曜日。冬の間の取り組みで既に成果を感じているはず…。この停止期間も自分自身のために「林式トレーニング」をはじめ、それぞれ出来る自主練習を続けて欲しい。

に32人もの方々が集まってくださった。これまで橘定野球部が積み重ねてきたもの、そして、大石優希が入部以来見せてきた誠実な姿勢がこの一日に表れていた。大石にはこのことを誇りにしてほしい。

試合は、選手が18人だったため交代はなく、全選手フル出場で3時間10インニング行われた。オール橘定野球部が序盤に9点をリードしたが、ねばりを見せたP&Tズがその差を少しずつつめていく熱戦。初回から大石親子の対決があったり、後半に袴田親子の対決があったり、先生方のファインプレーも珍々。プレーもあつたり、OB・OGの優しさにふれたり、1人の引退試合を通して、主役の大石だけでなく、皆が楽しい時間、小さな幸せを感じる時間になつていたのでないかと私は思っている。

大石親子対決も袴田親子対決も、良い当たりを放つたお父さんの打球をレフトを守るOBの岡ちゃん(岡崎巧さん)がナイスキャンチ。悔しそうなお父さんたちの表情もステキでした。笑いあり、真剣勝負あり、喜びあり、悔しさあり、この日の穏やかな天気のようにグラウンドには最初から最後まで和やかで温かい雰囲気広がっていた。





努力の積み重ねで活躍の場を築き上げてきた

# 大石優希

## 引退試合

2月12日(月) 12~16時  
市営御幸球場

オール橘定野球部 with 優希

VS

Papa & Teacherズ

# 橘定スポーツ BaseBall

ぼうてい

楽しさの中に

# 真剣勝負

引退試合では四年生がマウンドに立つ！大石親子の対決が再び…

大石優希が入部したのは1年生の秋。初めて試合に出場したのは入部間もない令和2年12月19日、OBとの練習試合だった。球場は、今回引退試合が計画されている市営御幸球場。偶然ではあるが、最初と最後が同じ球場となり何か特別なものを感じる。

あの日サードのポジションについて大石は、誰とも口をきけず、声も出せず、緊張から体が硬直して送球にグラブが出せず、何度も後逸していた。あの日からどれだけ努力を重ね、野球に情熱をかたむけ、ここまで辿りついたことか…。努力を積み重ねることの大切さを体現してきた大石。3年の間に、橘定野球部の中心選手としてチームを引っ張り、頼れる8代目主将にまで成長した。その大石優希が引退試合を迎える…。



毎年行われてきた「引退試合」。コロナ禍で出来ない年もあったが、翌年に二学年合同で行うなど、最後まで野球部に所属した全卒業部員に行われてきた特別な一戦。今年は大石優希一人であり、現役部員も少ないため、OB・OGが加わり「オール橘定野球部」チームを大石が率いる。引退試合の日には仕事で参加できないOBも、一月二十八日のOB戦にたくさん集まってくれた。引退する後輩を皆が祝いし、そしてOB・OGの仲間になることを歓迎してくれるのも毎年のことであり、良い伝統の一つだと思っている。

一方対戦相手は、かつては高津高校定時制と引退試合を続けていたが、ここ数年は「橘定教員」チームと熱い戦いを続けてきた。今年は、練習や練習試合で力をかしてくださってきた部員の家族と教員のチームと戦うこととなった。

引退試合では四年生がマウンドに立つ。

大石親子の対決が再び実現する！

楽しさの中に「真剣勝負」が繰り広げられることだろう…。

仲間と完全燃笑で終わりたい







# 橘定野球部10代目主将となって チームを牽引

# 橘定スポーツ BaseBall



誠実に取り組む姿勢と全カプレーで先頭に立つ

**吉田 侑生**  
主将

近づく「球春」に向けて  
今どれだけ出来るか  
全ては自分次第...

二月は共通選抜と学年末考査が続き部活動の停止期間が二週間ほど続く  
すぐに三月そして五月には全国大会予選が始まる...今どれだけ出来るか

# 全ては自分次第

一月十六日より橘定野球部10代目主将を任された吉田侑生。今年度は川崎連合でも全試合四番を務めてきた吉田は、大会でも本塁打を放つなどチャンスに強い打撃を見せてきた。体のこともあり活動は制限されることもあるが、四年生の大石優希のように部活動に誠実に取り組む姿勢と全カプレーの持ち主であり、主将としての姿にも期待したい。

吉田と袴田羽、大石優希の三人での練習が続くが、昨年同様、打てる数もノックでボールを捕る回数も二、三倍多くなる。それをチャンスと考えて部活動に参加し、一球一球を大事に技術を高めて欲しい。今週末はOB・OGが十人も集まってくれる。先生方の協力もあり、二チームに分かれて練習試合ができる。打席では結果を求めず、今は振り込んできているスイングをすることに努めて欲しい。

貴重な機会でもあり、また皆と同じように、橘定、そして野球部で四年を過ごした先輩方との交流の中で、野球だけでなく様々なものを感じ、学ぶところもあると思う。こういう機会を大事にして欲しい。

二月は、後半に入ると、共通選抜入試と学年末考査が続き、部活動の停止期間が二週間ほどとしばらく続く。すぐに三月、そして五月には全国大会予選が始まる。今どれだけやれるかは自分次第...

大石優希の「引退試合」  
がついに決まった!  
令和6年2月12日(月)  
市営御幸球場  
12時~16時を予定  
大石率いる橘定野球部  
VS  
橘定教職員TEAM  
[GoodLack]



10000スイング  
を突破した  
袴田 羽



橘定野球部を  
支え続けてくれる  
大石優希

1/27 土	18時~橘G
1/28 日	14時~御幸
1/29 ~2/2	放課後 橘G
2/ 3 土	18時~橘G
2/ 4 日	OFF
2/5 ~2/9	放課後 橘G
2/10 土	18時~橘G
2/11 日	OFF
2/12 月	12時~御幸 「大石優希引退試合」
2/13 火 ~	入試と期末考査のため2週間
2/25 月	OFF



# 自信は積み重ねから生まれていく

# 橘定スポーツ BaseBall

## 冬練のスイング数

練習日	スイング
12/6水	200振
12/7木	198振
12/8金	202振
12/9土	45振
12/11月	400振
12/12火	800振
12/14木	300振
12/15金	240振
12/16土	1000振
12/19火	700振
12/20水	515振
12/21木	600振
12/23土	1010振
12/25月	180振
1/5金	250振
1/7日	640振
1/9火	710振
1/10水	380振
1/11木	180振
1/12金	400振
1/13土	100振
1/16火	154振
1/17水	400振
現在	9604振
3月末まで続く	



袴田羽 (1年)

スイング目標を立て課題を克服しながら球春を目ざす

厳しいチーム状況だからこそ多くの人たちに支えられていることが実感できる…

# たとえ一人でも

再結成された十年前「希望する部員が一人でもいれば野球をしよう」と始まった

年末から部員が減少し、一月に入ってから一人または二人での練習となる日もあるが、引退した四年の大石優希が参加してくれていてとても助かっている。昨年の今頃も三年生だった大石を中心に部員は三人であり、当時四年生だった小森愛里さんが毎日のように参加して盛り上げてくれた。大石にはその時のことが心に残っているのかもしれない。野球の技術が高まることも、チームが強くなることも大事だが、それ以上に、四年生のこういう姿勢、そしてそのことに感謝し、自分がその立場になった時に同じようになれることが大事であり、尊いことだと思うの。

引退した大石優希が練習を支えてくれる

いる。そして、「こういうところこそ部活動の意義があるのだと思う。小森さんも大石も、入部した頃は部員と話をするのが出来ず、ミニにケーションがなかなかとれない時間が多かった。仲間と切磋琢磨し続けたい二人は、野球の技術以上に人との関わり方や人への思い、仲間の存在の大切さを学び、自分自身を高めていった。先月、年末に行われた「納め会」に参加した小森さんが、部員に「納め会」で野球が上手な前にならなくていいから、今、私は橘定野球部の一員だったことにすごく誇りを持っているの。

明日19日[ボウリング教室]です。昨年度までは6月に開催され、大会中でもあり、夜8時頃に学校に戻って練習していましたが、今年度部活は休みになります。20日(土)は18時から学校で練習となります。なお、1月28日(日)は多くのOB・OGに入ってもらい、14時から御幸球場で試合を行う予定です。

続けていけばみんなも絶対になんか思える日が来るから、続けて欲しいし、頑張りたい。小森さんはチーム一のバントの名手であり、レギュラーとして全国大会でも活躍し、選手として大いに貢献してくれていた。でも、OGとなった今、野球部でもっと別の部分で得た大事なものを「自信」と「誇り」にしている姿に、私は心の底から嬉しい気持ちになった。小森さんと大石だけでなく、野球部を卒部していった部員は皆、同じような成長を遂げている。今の野球部の現状を知っているOB・OGはたくさんいる。そして、現状を変えられるのは出来なくても、今の部員を支えてあげられることがあれば出来る限り力になつてくれようとしていく。一月二十八日にグラウンドが確保できたので声をかけたところ、十名ものOB・OGが集まってくれたという。今、部員一人練習という日もあるが、それは今だけでなく、昨年度も、そして、もっと多くの部員がいたときも、参加者一人という時期は何度も経験している。橘定野球部が同好会として再結成された十年前、「希望する部員が一人でもいれば野球をしよう」と始めた。その時から、たとえ一人であつても活動を続けてきたのが橘定野球部。そういう経験をしているOB・OGの前で、今を嘆く姿は見せられない。伝統を引き継ぎ、橘定野球部で全力で野球を楽しむ、プレーする姿を見てもらいたい。

ピッチャー 袴田父  
キャッチャー 田中弘行先生  
多くの支えの中で  
野球が出来ていることへの  
感謝を忘れない





全てがすぐに結果につながるとは限らない。しかし、  
**必ずその成果と成長を  
実感するときがくる**

# 橘定スポーツ BaseBall

真冬の夜の  
グラウンドでも  
汗が流れる…

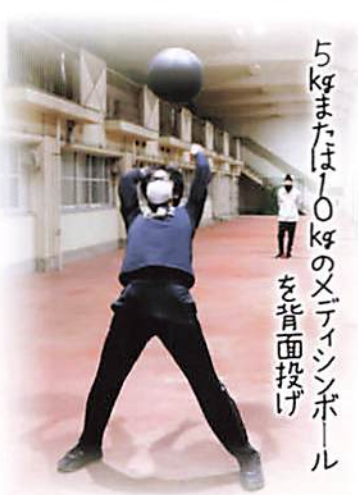
目標を持つだけでなく練習の目的や課題の克服を意識して取り組むことで達成感も価値も…

# 一月五日練習初め

令和五年十二月二十六日の納め会に参加した部員によって令和六年も始まった



令和6年1月5日(金) 橘高校グラウンド 令和6年「練習初め」



5kgまたは10kgのメディシンボールを背面投げ

橘定野球部の令和六年の「練習初め」は一月五日(金)十八時となった。十二月二十六日に行われた令和五年の納め会に参加した部員によって今年もスタートした。納め会に参加してくれたOGの小森愛里さんが「私からのお年玉」と言ってお菓子やウイダーゼリーを差し入れてくれた。もちろんトレーニングにも参加。筋肉痛になつて、三日後の「川崎市二十歳の集い」に振り袖を着て歩けなくなるかも…と言いつつ、時折悲鳴を上げていた。OGが参加している以上、四年生の大石優希もやらない

少ない部員の中で新年早々から支えてくれるOB・OGに感謝  
わけにはいかない。小森さんと大石は、現役時代、トレーニングでもバットスイングでも良きライバル関係でもあったので、懐かしい光景だった。少ない部員の中で新年早々から支えてくれるOB・OGに感謝したい。五日、六日、七日と三日間、トレーニングメニューと共にティーバッティングでバットを振り込んだ。袴田羽の三月までのスイング目標は15000スイング。一月七日までに既に7000スイングに達している。ただ振るだけでなく、肘の使い方や克服するためには強制ベルトをして振り続けている袴田。目標を持つだけでなく

く、練習の目的や課題の克服を意識して取り組むことで、目標を達成したときの達成感もその価値も違ってくるはず。一緒にバットを振っている吉田侑生も四年生の大石もひと冬ごとに打撃力を高めてきた。一年前には想像できなかったくらい成長を見せた吉田も大石も、スイングと共に冬のトレーニングの大切さを実感している。だからこそ、吉田は今年もこの時期を大切にしたい。大石は毎年大事にしてきた。全てがすぐに結果につながるとは限らない。しかし、必ずその成果と成長を実感するときがくる…



下半身を強化するトレーニング



技術向上につながる体幹を鍛える



## 冬のトレーニングはこれからが本番



手本を示しながら自らも鍛える林先生

**大石優希の引退試合**  
チームを引っ張り、支えてきてくれた4年生の「引退試合」は大事な試合であり行事。今年度も2月中旬の3連休中の一日を予定しているが、グラウンド抽選が当たらなかった場合は、確保できている1月28日(日)に行いたいと考えている。

1月の活動予定 基本はトレーニングメニューとなるが、気温によってはボールを使った練習も行う。

月	火	水	木	金	土	日
成人の日 8 OFF	9 19:00~ トレ①・ティー	10 放課後 トレ室	11 放課後 トレ②・ティー	12 放課後 トレ①・ティー	13 14:00~ 御幸球場	14 OFF
15 放課後 トレ②・ティー	16 放課後 トレ①・ティー	17 放課後 トレ室	18 放課後 トレ②・ティー	19 ボウリング教室 OFF	20 スイング Day 18:30~ 橘G	21 OFF
22 放課後 トレ②・ティー	23 放課後 トレ①・ティー	24 放課後 トレ室	25 放課後 トレ②・ティー	26 放課後 トレ①・ティー	27 スイング Day 18:30~ 橘G	28 14:00~ 御幸球場
29 放課後 トレ②・ティー	30 放課後 トレ①・ティー	31 放課後 トレ室	◆トレ①…腹筋・背筋・体幹トレーニング他 ◆ティー…バットスイング ◆トレ②…下半身の筋力トレーニング他 ◆トレ室…トレーニング室の器具を使った筋力トレーニング			



切り拓いていきたい道 歩みたい道をつっていくのは自分自身  
思いが自分を動かし 行動となり  
少しずつ実現へと導く…

# 橘定スポーツ BaseBall



令和6年も皆さんに応援していただける野球部をめざして  
どんなときも最後まで全力プレーで戦います。応援よろしくお願ひいたします。  
令和5年12月25日(月)  
等々力運動広場

十二月二十五日、等々力運動広場に集まり、この時期としては例年でない暖かさを感じる中で「打ち納め」となる令和5年度最後の練習に汗を流した。翌日、部室の清掃と整理整頓、そして、夕方から納め会が行われた。この一日は毎年行われる橘定野球部の恒例行事。新年、気もち良くスタートを切るための大掃除は、部室内はもろろんのこと、道具を一つ一つ洗ったりふいたり、さらにボールは全てたわしで水洗いして磨くのが恒例のこと。メンバーが少なく、この日はOGの小森愛里さんが納め会の買い出しなどを手伝ってくれた。もちろん納め会にも参加してもらい、大いに盛り上げてくれた。袴田羽が小森さんとの買い出しを担当し、大石優希、吉田侑生、和田蒼生が大掃除を担当したが、言われなくてもやるべきことをしっかりとチーム状況が変わっても、良い伝統が代々先輩から後輩へと受け継がれていることを実感させてもらい、気もち良く令和5年が終わった。

「戦必笑」「完全燃笑」をモットーに令和六年「いちねんにつうず」  
**一念天に通ず**  
「成し遂げたい強い思いを持って努力すれば思いは天に通じ達成できる」という意味



令和6年が始まりました。特に何かが変わるということはないかもしれませんが、新たな思いを抱いたり、目標を持ったたり、再確認したりすることが出来る「特別な時」だと思います。令和6年のこれからの時間は未来であり、全てが未知です。自分の思いや願い、努力によって新しい世界を切り拓いていくことができます。思い通りにはいかないことももちろんたくさんあると思いますが、切り拓いていきたい道、歩みたい道をつっていくのは自分自身です。思いが自分を動かし、行動となり、その行動が少しずつ実現へと導いていくはずで、「思い」なくして前進はありません。言葉にしなくても、心に秘めているだけでも良いと思います。大事なことは「思う」ことです。令和6年のスタートにあたり、高校生としての自分、野球部員としての自分の今年への思いをしっかりと心に抱いてみてください。きつと実現に近づけるはずで、  
本年もよろしくお願ひします。  
令和六年一月 吉日

冬休みは1月8日まで。9日からは令和5年度の最後の時間が始まる。進級への準備期間でもあり、誠実に行動しよう。



キャッチャー 防具を丁寧に水洗い



ボールを一個一個タワシで水洗い



部室の掃除と整理整頓が完了



買い出しの後は教室で会の準備に…



和田蒼生 吉田侑生 林先生 中島先生 袴田羽 小森愛里(OG) 大石優希

毎年行われる橘定野球部の大切な時間…



- 令和5年12月26日
- ◎部室の清掃と整理整頓
  - ◎道具の手入れ
  - ◎納め会(クリスマス会)

1年をふり振り返り、また来年に向けて、一人一人思いを語る…

「この野球部で良かった」と…  
いつも協力していただいている田中先生もご招待…